

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

郵送による無記名アンケート方式
調査時点 平成31年3月1日発送
平成31年3月11日投函期限
調査対象 信用保証利用先1,500企業
有効回答数 368 企業(回答率 24.5%)

※ 当期: H31年1月～3月実績見込
次期: H31年4月～6月期予測

【DI値について】

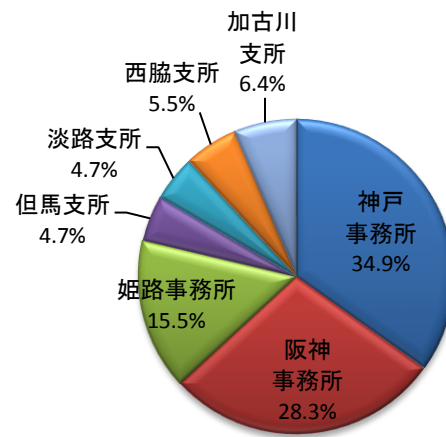
- ◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引いて算出しています
- ◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

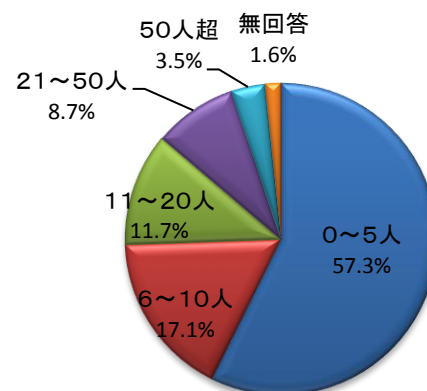
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	126	34.9%
阪神事務所	102	28.3%
姫路事務所	56	15.5%
但馬支所	17	4.7%
淡路支所	17	4.7%
西脇支所	20	5.5%
加古川支所	23	6.4%
小計	361	100.0%
地域不明・無回答	7	-
合計	368	-



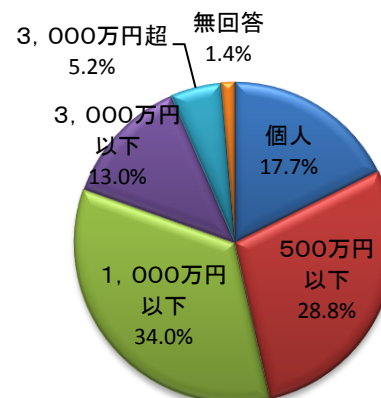
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	211	57.3%
6～10人	63	17.1%
11～20人	43	11.7%
21～50人	32	8.7%
50人超	13	3.5%
無回答	6	1.6%
合計	368	100.0%



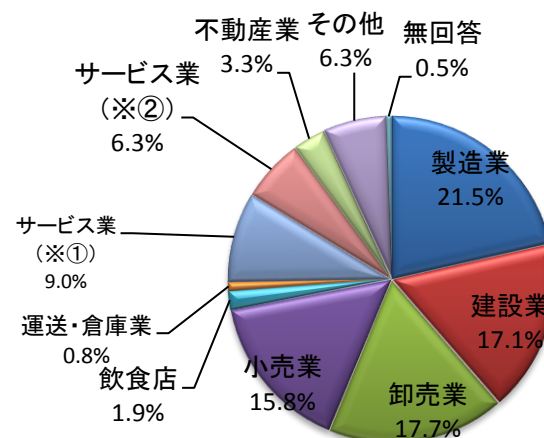
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	65	17.7%
500万円以下	106	28.8%
1,000万円以下	125	34.0%
3,000万円以下	48	13.0%
3,000万円超	19	5.2%
無回答	5	1.4%
総計	368	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	79	21.5%
建設業	63	17.1%
卸売業	65	17.7%
小売業	58	15.8%
飲食店	7	1.9%
運送・倉庫業	3	0.8%
サービス業(※①)	33	9.0%
サービス業(※②)	23	6.3%
不動産業	12	3.3%
その他	23	6.3%
無回答	2	0.5%
合計	368	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(19年1～3月期)は、前期(18年10～12月期)に比べどのような状況ですか。
 (2) 次期(19年4～6月期)は、当期(19年1～3月期)に比べどう思いますか。

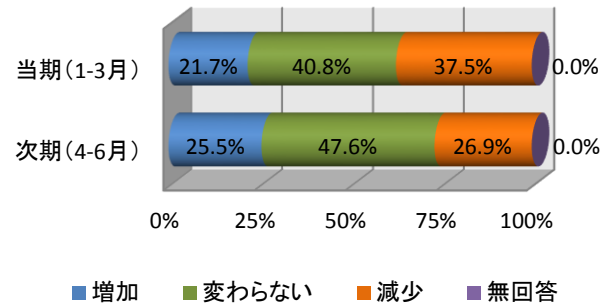
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	80	21.7%
変わらない	150	40.8%
減少した	138	37.5%
無回答	0	0.0%
総計	368	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	94	25.5%
変わらないと思う	175	47.6%
減少すると思う	99	26.9%
無回答	0	0.0%
総計	368	100.0%



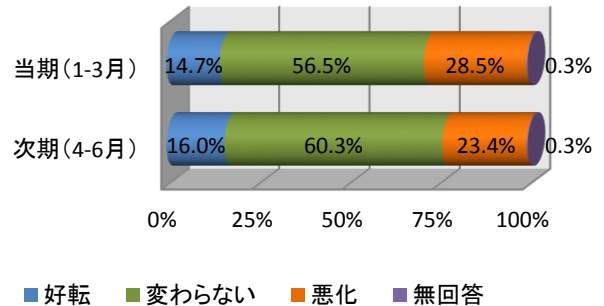
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	54	14.7%
変わらない	208	56.5%
悪化した	105	28.5%
無回答	1	0.3%
総計	368	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	59	16.0%
変わらないと思う	222	60.3%
悪化すると思う	86	23.4%
無回答	1	0.3%
総計	368	100.0%



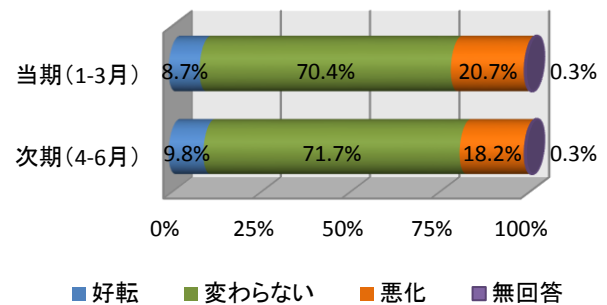
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	32	8.7%
変わらない	259	70.4%
悪化した	76	20.7%
無回答	1	0.3%
総計	368	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	36	9.8%
変わらないと思う	264	71.7%
悪化すると思う	67	18.2%
無回答	1	0.3%
総計	368	100.0%



資金繰りDI(好転－悪化)

調査時期 (実績)	2017年 1～3月	2017年 4～6月	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月	2018年 10～12月	2019年 1～3月	2019年 4～6月 (見込み)
兵庫県	▲ 10.5	▲ 3.5	▲ 4.3	▲ 7.9	▲ 8.1	▲ 11.3	▲ 6.0	▲ 7.5	▲ 12.0	▲ 8.4

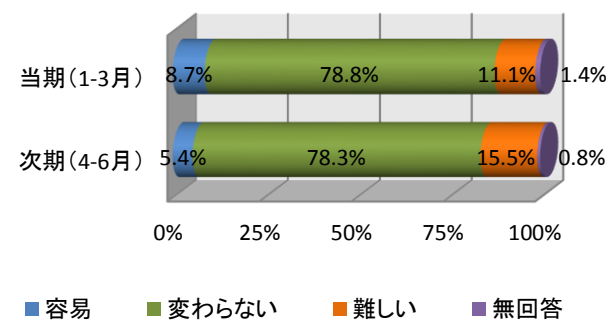
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	32	8.7%
変わらない	290	78.8%
難しくなった	41	11.1%
無回答	5	1.4%
総計	368	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	20	5.4%
変わらないと思う	288	78.3%
難しくなると思う	57	15.5%
無回答	3	0.8%
総計	368	100.0%



借入難易感DI(容易－難しい)

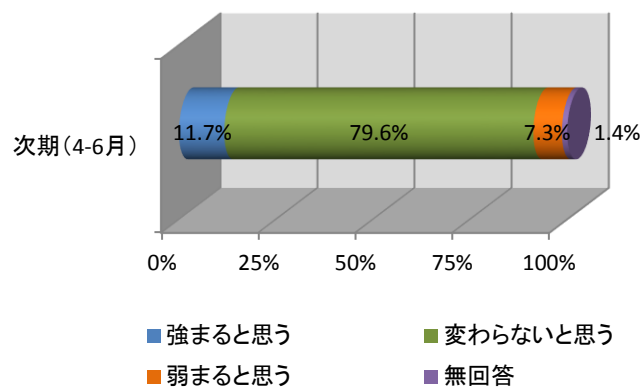
調査時期 (実績)	2017年 1～3月	2017年 4～6月	2017年 7～9月	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月	2018年 7～9月	2018年 10～12月	2019年 1～3月	2019年 4～6月 (見込み)
兵庫県	▲ 3.3	3.5	5.6	▲ 3.8	▲ 1.5	▲ 3.5	▲ 0.9	▲ 1.9	▲ 2.4	▲ 10.1

当期(1-3月)のDI値は、前回調査(10-12月)と比べ、全ての項目で悪化しました。
次期(4-6月)については、「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目では、改善を見込んでいますが、「借入難易感」は悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	43	11.7%
変わらないと思う	293	79.6%
弱まると思う	27	7.3%
無回答	5	1.4%
総計	368	100.0%



信用保証付要請DI(強まるー弱まる)

調査時期 (見込み)	2016年 10～12月 (1～3月)	2017年 1～3月 (4～6月)	2017年 4～6月 (7～9月)	2017年 7～9月 (10～12月)	2017年 10～12月 (1～3月)	2018年 1～3月 (4～6月)	2018年 4～6月 (7～9月)	2018年 7～9月 (10～12月)	2018年 10～12月 (1～3月)	2019年 1～3月 (4～6月)
兵庫県	1.2	3.3	6.9	5.4	1.4	5.4	▲ 0.9	4.0	7.8	4.3

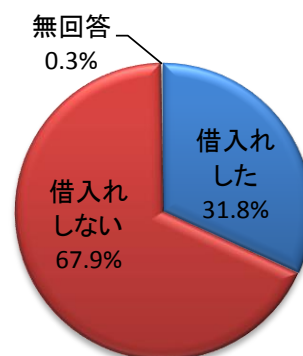
金融機関からの信用保証付要請は、前回に引き続き「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ. 当期(19年1～3月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

	19年1～3月期		18年10～12月期	18年7～9月期	18年4～6月期	18年1～3月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	117	31.8%	36.1%	33.8%	32.8%	30.8%
借入れしない	250	67.9%	63.4%	64.2%	66.0%	65.8%
無回答	1	0.3%	0.5%	2.0%	1.2%	3.4%
総計	368	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

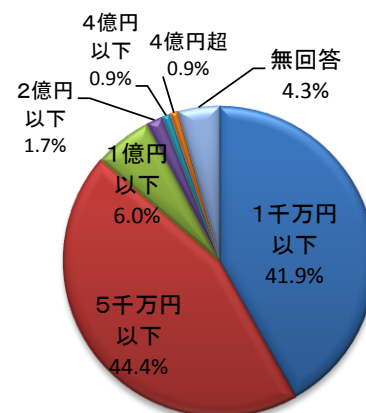
当期の借入れは、前回調査と比べ、4.3ポイント減少しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

	19年1～3月期		18年10～12月期	18年7～9月期	18年4～6月期	18年1～3月期
借入れ総額	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	49	41.9%	40.7%	36.4%	40.3%	44.0%
5千万円以下	52	44.4%	44.4%	40.7%	38.8%	38.4%
1億円以下	7	6.0%	5.2%	9.3%	12.9%	8.0%
2億円以下	2	1.7%	2.2%	4.2%	2.9%	1.6%
4億円以下	1	0.9%	2.2%	1.7%	2.2%	1.6%
4億円超	1	0.9%	0.0%	3.4%	0.0%	0.8%
無回答	5	4.3%	5.2%	4.2%	2.9%	5.6%
総計	117	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

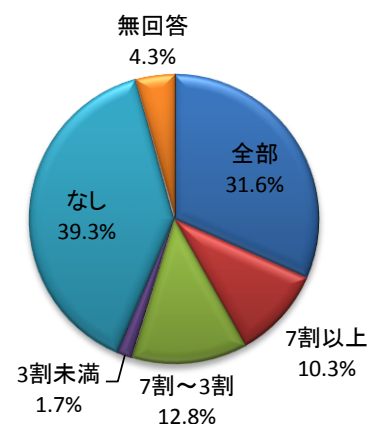
当期の借入総額は、「1千万以下」「5千万円以下」の合計が86.3%となり、構成比の大半を占めています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

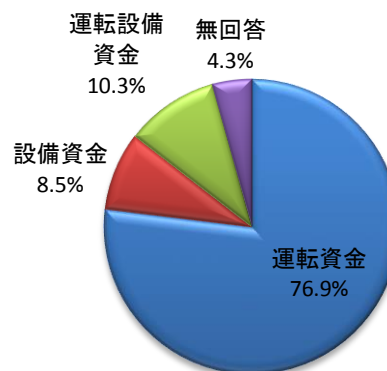
	19年1～3月期		18年10～12月期	18年7～9月期	18年4～6月期	18年1～3月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	37	31.6%	38.5%	35.6%	40.3%	32.8%
7割以上	12	10.3%	8.1%	5.9%	7.9%	9.6%
7割～3割	15	12.8%	13.3%	15.3%	8.6%	13.6%
3割未満	2	1.7%	6.7%	4.2%	7.2%	0.0%
なし	46	39.3%	25.9%	34.7%	30.9%	39.2%
無回答	5	4.3%	7.4%	4.2%	5.0%	4.8%
総計	117	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

前回調査と比べ、信用保証付き借入れの割合は「全部」の割合が6.9ポイントの減少となり、「なし」が13.4ポイントの増加となりました。



当期借入金の目的は何ですか。

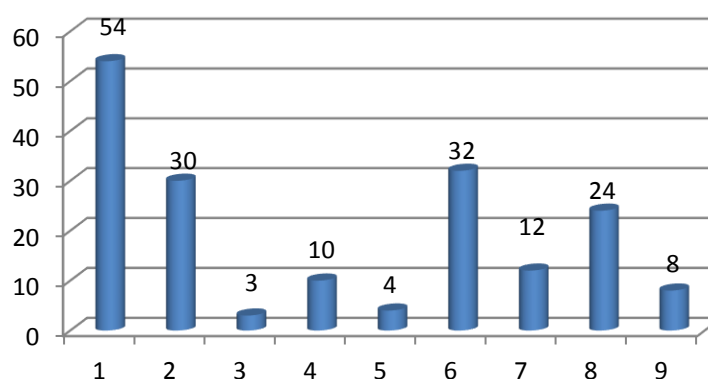
選択肢	回答数	構成比
運転資金	90	76.9%
設備資金	10	8.5%
運転設備資金	12	10.3%
無回答	5	4.3%
総計	117	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか（複数回答）。

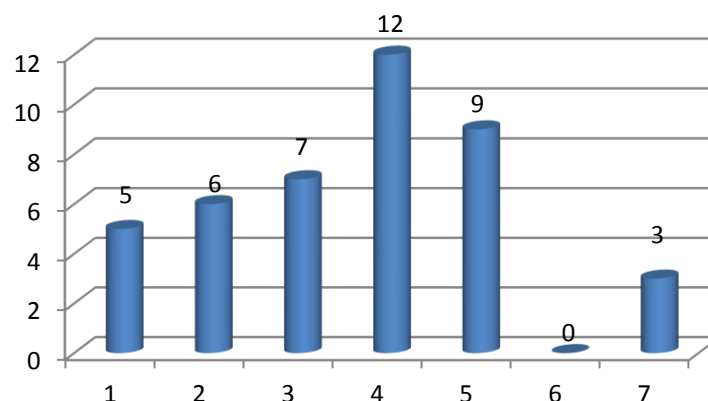
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	54
2 売上減少・赤字補填	30
3 過剰在庫対応	3
4 支払条件短縮対応	10
5 回収条件悪化対応	4
6 売上増加運転資金	32
7 在庫積み増し	12
8 季節運転資金	24
9 その他	8
総計	177



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上増加運転資金」「売上減少・赤字補填」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか（複数回答）。

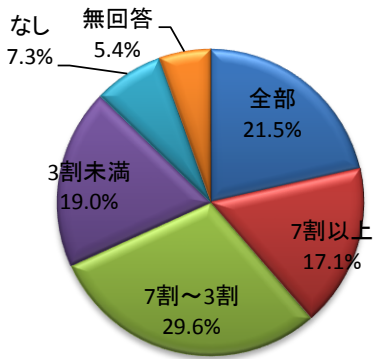
選択肢	回答数
1 新規事業	5
2 生産増強	6
3 合理化・効率化	7
4 設備老朽化に伴う入替	12
5 修理・修繕	9
6 公害防止・環境関連	0
7 その他	3
総計	42



設備資金の種類は、「設備老朽化に伴う入替」が最も多く、次いで「修理・修繕」「合理化・効率化」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(19年3月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

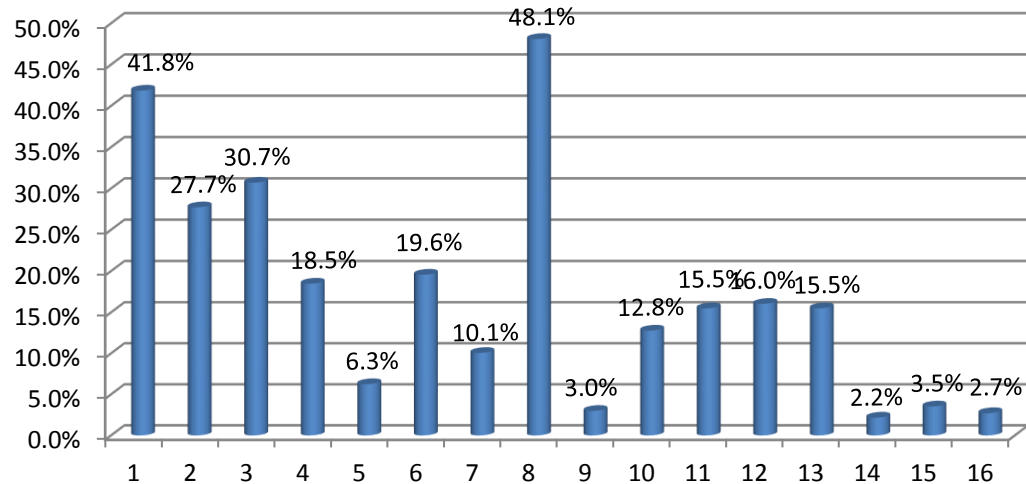
	19年1～3月期		18年10～12月期	18年7～9月期	18年4～6月期	18年1～3月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	79	21.5%	20.9%	19.8%	21.0%	20.2%
7割以上	63	17.1%	15.2%	17.5%	15.3%	15.8%
7割～3割	109	29.6%	36.1%	31.2%	31.6%	30.8%
3割未満	70	19.0%	16.8%	18.1%	20.3%	16.7%
なし	27	7.3%	4.8%	6.3%	4.5%	5.9%
無回答	20	5.4%	6.1%	7.2%	7.3%	10.6%
総計	368	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「ほとんど全部」「7割以上」「3割未満」「なし」とする割合が増加し、「7割～3割」とする割合が、減少しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	154	41.8%	9 過剰在庫	11	3.0%
2 競争激化	102	27.7%	10 設備投資	47	12.8%
3 コスト高	113	30.7%	11 後継者難	57	15.5%
4 業界構造変化	68	18.5%	12 資金調達	59	16.0%
5 取引条件の悪化	23	6.3%	13 借入過多	57	15.5%
6 消費者ニーズの多様化	72	19.6%	14 為替	8	2.2%
7 技術・商品開発	37	10.1%	15 海外景気の減速	13	3.5%
8 人材・労働力の確保	177	48.1%	16 その他	10	2.7%



経営上の課題については、「人材・労働力の確保(48.1%)」「売上・受注の減少(41.8%)」が上位となっており、次いで、「コスト高(30.7%)」「競争激化(27.7%)」の順となっています。

